

## 塩山ブロック交流研究会

「新学習指導要領の完全実施を受け、小中の系統性をつかみ授業に生かす」

### I 主題設定の理由

小中連携は、「地域とともにある学校」づくり、小学生が中学校進学に対する不安感を軽減し生徒指導上の諸問題に対応していく等の目的を担っている。塩山ブロック交流研究会においても、小学校・中学校の教職員が理解を深め、同一の課題意識のもと、子供たちの育成にあたる必要がある。そのため、授業参観や情報交換会などを通して地域が抱える教育課題を共有し、さらに教育課程の系統性を確認しながら、今後の指導に生かしていくため本主題を設定した。

### II 研究の具体的内容

#### 1 ブロック交流研究会

(1) 日時 令和2年11月4日(水) 13:50～16:30

(2) 目的 授業及び家庭学習スタンプイを参観し、交流を図る中で、塩山中学区の課題を明らかにし、連携した教育実践を進める。

#### (3) 内容

ア 塩山中学校の授業及び家庭学習スタンプイの時間を参観する。

イ 分科会に分かれ、話し合いの柱に沿って情報交換・意見交流を行い、小中学校が連携した教育実践が進められるようにする。

#### 【話し合いの柱】

- |          |                        |
|----------|------------------------|
| ①言語活動の充実 | (朝読・作文・スピーチ・漢字テスト・語彙力) |
| ②英語      | (小中連携・専科)              |
| ③家庭学習    | (スタンプイの時間・ノート指導・内容・提示) |
| ④しつけ     | (生活目標・保護者対応・指導法)       |
| ⑤支援      | (家庭との連携・発達・成長・不登校)     |
| ⑥健康スポーツ  | (部活動・体育行事・けが・病気・礼儀作法)  |

### III 成果と課題

#### 1 成果

- ・中学校の授業及び家庭学習スタンプイの時間を参観し、生徒の様子や家庭学習に向けて取り組む様子を知ることができた。
- ・分科会では、各校での取組や課題についての情報交換をすることにより、小中での連携を図ることができた。

#### 2 課題

- ・共通理解を図った上で、学習規律の他あいさつや無言清掃の取組など、発達段階を含め、可能なところから統一した取組を意識していけるとよい。
- ・9年間の教育課程を系統的に学び、よりよい連携の場となるように研究会の内容や方法について検討していく必要がある。

(ブロック長 平山 沙織)